

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

2. 第一次世界大戦の拡大と日本 教P196~197

第一次世界大戦と日本

- ・1914年：日本、日英同盟を理由にドイツに宣戦布告



目的：
ヨーロッパ諸国が

ドイツの持つ中国山東半島青島、
南洋諸島の占領

教科書P197
『④第一次世界大戦での日本の動き』で
場所も確認しておこう

袁世凱

- ・1915年：日本、中華民国に（ ）を出す
※大部分を認めさせる

↓
中国での
反日運動
本格化

教科書P196左
『中国に対する二十一か条の要求』を見ておこう！
最後の条文は撤回した・・・

～次のページに続く～

ロシア革命・シベリア出兵とソ連の成立

・大戦中のロシア
皇帝の戦争継続への不満



1917年2月：女性や労働者の抵抗運動
3月：各地に労働者・兵士による代表者会議（ソビエト）
皇帝退位→臨時政府
※戦争継続

1回目の革命



11月：レーニンなどが臨時政府を倒す
世界初の社会主義国家誕生
2回合わせて（ ）

2回目の革命

無併合・無償金・
（ ）での講和を主張
※講和：戦争をやめること

教科書P197右
解説 民族自決 見てね

教科書P196上 ①レーニンの演説の様子
P197右 解説 社会主義と共産主義 も確認を

1918年：日本、アメリカなどが
（ ）を行う

軍事的に干渉することで社会主義革命の広がりを防ぎたい

※日米英仏 計約9万人の出兵のうち、約7万3000人が日本軍
※他国が撤退後も1922年までシベリアにとどまる



日本の狙いを予想してみよう。

Empty rectangular box for student response.

1922年：対ソ干渉戦争（シベリア出兵含む）の失敗



（ ）（ソ連）成立

教科書P196左下
③第一次世界大戦開始後の動きも見ておくといいね！

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

2. 第一次世界大戦の拡大と日本 教P196~197

第一次世界大戦と日本

- ・ 1914年：日本、日英同盟を理由にドイツに宣戦布告



目的：
ヨーロッパ諸国が
ヨーロッパで戦っているうちに中国に力を伸ばす

ドイツの持つ中国 山東半島 青島、
南洋諸島の占領

教科書P197
『④第一次世界大戦での日本の動き』で
場所も確認しておこう

袁世凱

- ・ 1915年：日本、中華民国に（ 二十一か条の要求 ）を出す
※大部分を認めさせる

↓
中国での
反日運動
本格化

教科書P196左
『中国に対する二十一か条の要求』を見ておこう！
最後の条文は撤回した・・・

～次のページに続く～

ロシア革命・シベリア出兵とソ連の成立

・大戦中のロシア
皇帝の戦争継続への不満



1917年2月：女性や労働者の抵抗運動
3月：各地に労働者・兵士による代表者会議（ソビエト）
皇帝退位→臨時政府
※戦争継続

1回目の革命



11月：レーニンなどが臨時政府を倒す
世界初の社会主義国家誕生
2回合わせて（**ロシア革命**）

2回目の革命

無併合・無償金・
（**民族自決**）での講和を主張
※講和：戦争をやめること

教科書P197右
解説 民族自決 見てね

教科書P196上 ①レーニンの演説の様子
P197右 **解説** 社会主義と共産主義 も確認を

1918年：日本、アメリカなどが
（**シベリア出兵**）を行う

軍事的に干渉することで社会主義革命の広がりを防ぎたい

※日米英仏 計約9万人の出兵のうち、約7万3000人が日本軍
※他国が撤退後も1922年までシベリアにとどまる



日本の狙いを予想してみよう。

シベリア東部の占領をめざす

1922年：対ソ干渉戦争（シベリア出兵含む）の失敗



（**ソビエト社会主義共和国連邦**（ソ連））成立

教科書P196左下
③第一次世界大戦開始後の動きも見ておくといいね！

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

3. 第一次世界大戦後の欧米諸国 教P198~199

ベルサイユ条約と民族自決・国際連盟の成立

- ・ 1918年11月：ドイツ革命で帝政廃止



ドイツ降伏、第1次世界大戦終結へ



- ・ 1919年：パリ講和会議が開かれる

① () 結ばれる

- ・ ドイツの軍備制限
- ・ ドイツの領土削減

↳ 本国の一部、海外の植民地すべて

※南洋諸島は日本が支配、山東省（中国）の利権が日本へ

- ・ ドイツにばく大な賠償金

↳ 経済混乱

1921年度予算の25倍

教科書P198上

①ベルサイユ条約の調印 を見て
「各国の考え」も確認しよう！

※紙幣を刷りすぎてマルク（ドイツの通貨単位）の価値暴落

1914年に 1ドル=4.5マルクで交換できたが

1923年には 1ドル=4兆1980億へ

教科書P199

⑥紙幣で遊ぶドイツの子ども

- ② 民族自決の呼びかけ →東ヨーロッパ諸国の独立、
※アジア・アフリカでの

民族自決を求める運動活発化

教科書P200へ
続く・・・

教科書P198②第一次世界大戦後のヨーロッパも確認

- ③ () の設立 本部はスイスのジュネーブ

- ・ 日本は常任理事国（列強の仲間入り）
- ・ アメリカは議会の反対で不参加

↳ 国際連盟が強い力を持てなかった理由の1つ

※②③は () 大統領（アメリカ）の提案

民主主義の高まり

- ・ 総力戦の影響

- ① ヨーロッパで不景気などへの国民の不満高まる



国民の要求に応える政策打ち出される

- ・ 1918年：イギリスで女性参政権認められる
- ・ 1919年：ドイツがワイマール憲法 を基礎とする共和国へ
（男女普通選挙、国民主権、団結権、生存権など）

※ばくだいな賠償金で経済は不安定

- ② アメリカが世界一の経済力へ ※日本も好景気（大戦景気）へ

教科書P214へ続く・・・

教科書p204へ続く・・・

当時、世界で最も
民主的な憲法

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

3. 第一次世界大戦後の欧米諸国 教P198~199

ベルサイユ条約と民族自決・国際連盟の成立

- ・ 1918年11月：ドイツ革命で帝政廃止



ドイツ降伏、第1次世界大戦終結へ



- ・ 1919年：パリ講和会議が開かれる
- ① (ベルサイユ条約) 結ばれる
 - ・ ドイツの軍備制限
 - ・ ドイツの領土削減

教科書P198上

①ベルサイユ条約の調印 を見て
「各国の考え」も確認しよう！

↳ 本国の一部、海外の植民地すべて

※南洋諸島は日本が支配、山東省(中国)の利権が日本へ

- ・ ドイツにばく大な賠償金

↳ 経済混乱

1921年度予算の25倍

※紙幣を刷りすぎてマルク(ドイツの通貨単位)の価値暴落

1914年に 1ドル=4.5マルクで交換できたが

1923年には 1ドル=4兆1980億へ

教科書P199

⑥紙幣で遊ぶドイツの子ども

- ② 民族自決の呼びかけ → 東ヨーロッパ諸国の独立、
※アジア・アフリカでの

教科書P200へ
続く・・・

民族自決を求める運動活発化

教科書P198②第一次世界大戦後のヨーロッパも確認

- ③ (国際連盟) の設立 本部はスイスのジュネーブ
 - ・ 日本は常任理事国(列強の仲間入り)
 - ・ アメリカは議会の反対で不参加

↳ 国際連盟が強い力を持てなかった理由の1つ

※②③は (ウィルソン) 大統領(アメリカ)の提案

民主主義の高まり

- ・ 総力戦の影響

- ① ヨーロッパで不景気などへの国民の不満高まる



国民の要求に応える政策打ち出される

- ・ 1918年：イギリスで女性参政権認められる
- ・ 1919年：ドイツがワイマール憲法を基礎とする共和国へ
(男女普通選挙、国民主権、団結権、生存権など)

※ばくだいな賠償金で経済は不安定

- ② アメリカが世界一の経済力へ ※日本も好景気(大戦景気)へ

教科書P214へ続く・・・

教科書p204へ続く・・・

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

4. アジアの民族自決と国際協調 教P200~201

朝鮮の三・一独立運動～インドの民族運動

・1918年～各地で民族自決を求める動き ※パリ講和会議の影響

↓

・1919年

① 朝鮮 3月1日～ () おきる

・三・一独立宣言 ・各地で独立運動

↓

※朝鮮総督府が武力でおさえる政策を変更

・軍人による警察制度廃止 ・集会、言論、出版における一定の権利認める

② インド 4月6日～ () による独立運動

イギリスが第一次世界大戦後の自治を無視

↓

「非暴力・不服従」の抵抗運動・自治要求

③ 中華民国 5月4日～ ()

二十一か条の要求取り消しが退けられたことへの抗議

↓

日本の主張が通る (山東省の利権など・・・)

※1919年：孫文が中国国民党結成

↳ 中国共産党(1921年結成)と協力して
民族独立・国民革命に向けた動き

ワシントン会議と国際協調

・国際協調の動き

第一次世界大戦後の世界の
キーワードの一つ

※協調：利害や立場などが
異なるもの同士が
協力し合うこと

1921～1922年：() 開かれる アメリカの呼びかけ

- ・四か国条約：太平洋の勢力範囲の現状維持、日英同盟の廃止
- ・九か国条約：中国の主権尊重、領土の保全
- ↳ 日本の中国進出を抑えたい・・・日米関係悪化へ
- ・海軍軍縮条約：主力艦の保有比を 米5：英5：日3：仏1.67：伊1.67へ

※日本軍部の不満高まる (政府批判へ)

厭戦と経済的な事情も・・・

日本政府は国際協調の方針継続

1928年：パリ不戦条約

1930年：ロンドン海軍軍縮条約

教科書P200

②第一次世界大戦後の動き も
確認を！

アメリカの世界への影響力が強まった
けど、アメリカは国際連盟に加入して
ないので 国際連盟主導では軍縮が進ま
なかったということ・・・

第6部 二度の世界大戦と日本

第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き

4. アジアの民族自決と国際協調 教P200~201

朝鮮の三・一独立運動～インドの民族運動

・1918年～各地で民族自決を求める動き ※パリ講和会議の影響

↓

・1919年

① 朝鮮 3月1日～ (**三・一独立運動**) おきる
 ・三・一独立宣言 ・各地で独立運動

↓

※朝鮮総督府が武力でおさえる政策を変更
 ・軍人による警察制度廃止 ・集会、言論、出版における一定の権利認める

② インド 4月6日～ (**ガンディー**) による独立運動
 イギリスが第一次世界大戦後の自治を無視

↓

「非暴力・不服従」の抵抗運動・自治要求

③ 中華民国 5月4日～ (**五・四運動**)
 二十一か条の要求取り消しが退けられたことへの抗議

↓

日本の主張が通る (山東省の利権など・・・)

※1919年：孫文が中国国民党結成
 ↳ 中国共産党 (1921年結成) と協力して
 民族独立・国民革命に向けた動き

ワシントン会議と国際協調

・国際協調の動き

第一次世界大戦後の世界の
キーワードの一つ

※協調：利害や立場などが
異なるもの同士が
協力し合うこと

1921～1922年：(**ワシントン会議**) 開かれる **アメリカの呼びかけ**

- ・四か国条約：太平洋の勢力範囲の現状維持、日英同盟の廃止
- ・九か国条約：中国の主権尊重、領土の保全
- ↳ 日本の中国進出を抑えたい・・・日米関係悪化へ
- ・海軍軍縮条約：主力艦の保有比を 米5：英5：日3：仏1.67：伊1.67へ

※日本軍部の不満高まる (政府批判へ)

厭戦と経済的な事情も・・・

日本政府は国際協調の方針継続

1928年：パリ不戦条約

1930年：ロンドン海軍軍縮条約

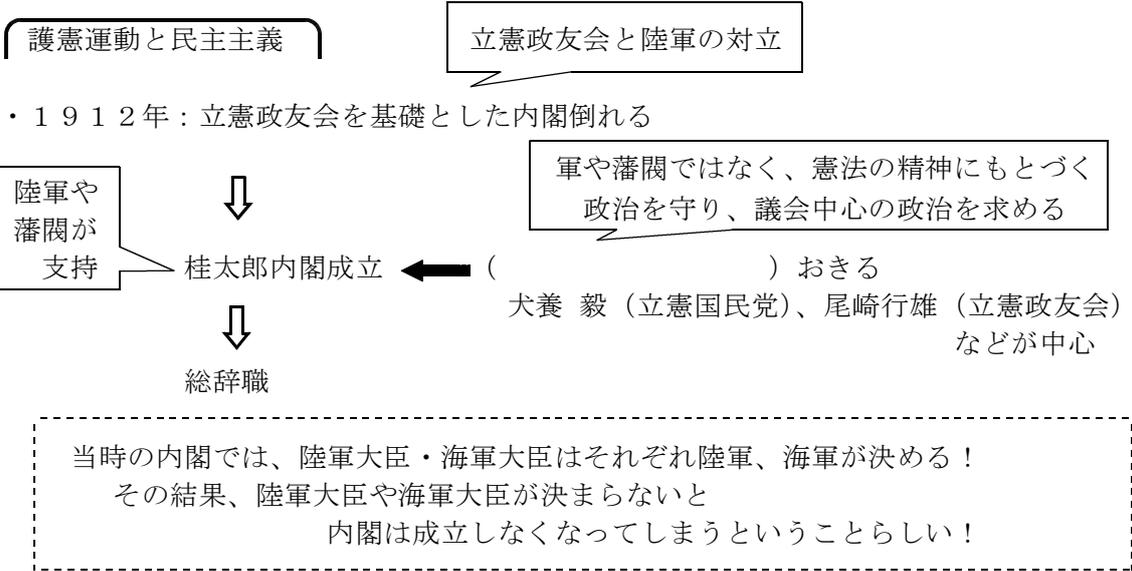
教科書P200

②第一次世界大戦後の動き も
確認を！

アメリカの世界への影響力が強まった
けど、アメリカは国際連盟に加入して
ないので 国際連盟主導では軍縮が進ま
なかったということ・・・

第6部 二度の世界大戦と日本
第2章 高まるデモクラシーの意識

1. 護憲運動と政党内閣の成立 教P204~205



※第一次世界大戦中、民主主義を広める動きが世界に広まる。

日本では

1912年：美濃部 達吉が天皇機関説(1912年)

1916年：() が () を唱える

主権がどこにあっても民衆の考えにもとづき
政党や議会を中心とした政治が可能
※「民主」だと国民主権になってしまうので、
大日本帝国憲法では無理、そこで「民本」

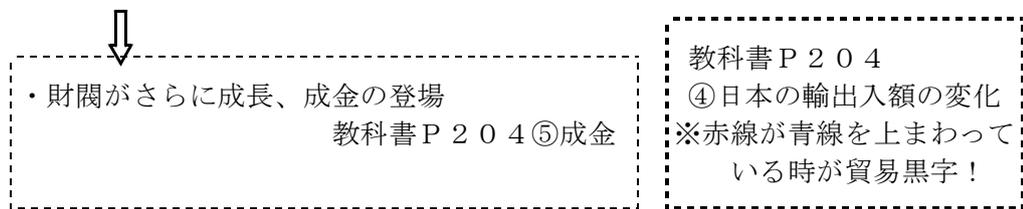
日本経済の急成長

・第一次世界大戦中、アメリカと日本が世界経済で力を伸ばす。

(戦場にならなかった、ヨーロッパの生産の肩代わり)

アメリカ：世界一の経済大国へ・・・教科書P214へ続く・・・

日本：大戦景気→重工業急成長(船舶、鉄鋼などの生産) → 貿易黒字



～次のページへ続く～

米騒動と政党内閣の成立

・大戦景気



・ 物価急上昇：生活苦
・ 工業生産額 > 農業生産額
・ 都市人口増加
・ シベリア出兵にともなう米の買い占め

} 米不足で
値上がり



場所、だいじょうぶ？

・ 1918年7月～富山県で（ ）おきる



全国へ広がる

教科書P205 ⑥米騒動 ⑦米騒動の広がり も
見てね！



軍隊が出動、鎮圧



国民の批判



※政府によるアジアでの米買い占め →アジアでも米騒動

・ 1918年9月：（ ）内閣成立

平民宰相

初めての本格的な（ ）

（陸海軍大臣以外は立憲政友会）

国民に人気のある
人物で批判を？

教科書P205 右

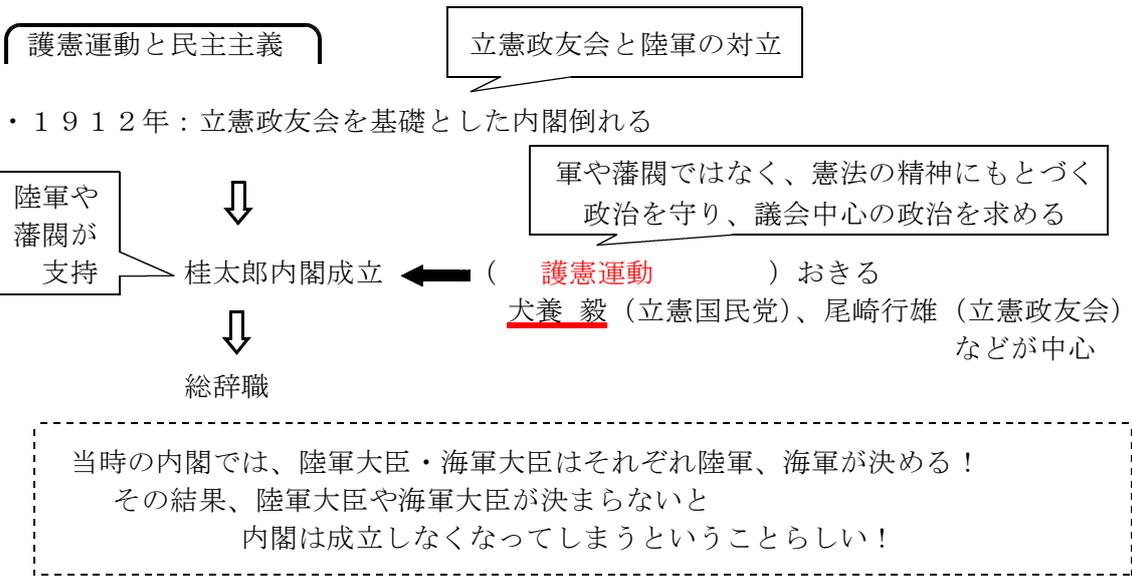
「平民宰相」と呼ばれた首相

も読んでね！

宰相：もともとは中国で皇帝を
補佐して政治を行う役職
いつからか総理大臣の別称に・・・

第6部 二度の世界大戦と日本
第2章 高まるデモクラシーの意識

1. 護憲運動と政党内閣の成立 教P204~205



※第一次世界大戦中、民主主義を広める動きが世界に広まる。

日本では

1912年：美濃部 達吉が天皇機関説(1912年)

1916年：(吉野 作造) が (民本主義) を唱える

主権がどこにあっても民衆の考えにもとづき
政党や議会を中心とした政治が可能
※「民主」だと国民主権になってしまうので、
大日本帝国憲法では無理、そこで「民本」

日本経済の急成長

・第一次世界大戦中、アメリカと日本が世界経済で力を伸ばす。

(戦場にならなかった、ヨーロッパの生産の肩代わり)

アメリカ：世界一の経済大国へ・・・教科書P214へ続く・・・

日本：大戦景気→重工業急成長(船舶、鉄鋼などの生産) → 貿易黒字



～次のページへ続く～

米騒動と政党内閣の成立

・大戦景気



- ・物価急上昇：生活苦
- ・工業生産額 > 農業生産額
- ・都市人口増加
- ・シベリア出兵にともなう米の買い占め

米不足で
値上がり



場所 だいじょうぶ？

・ 1918年7月～富山県で（米騒動）おきる



全国へ広がる

教科書P205 ⑥米騒動 ⑦米騒動の広がりも見てね！



軍隊が出動、鎮圧



国民の批判



※政府によるアジアでの米買い占め → アジアでも米騒動

・ 1918年9月：（原敬）内閣成立

平民宰相

初めての本格的な（政党内閣）
（陸海軍大臣以外は立憲政友会）

国民に人気のある人物で批判を？

教科書P205 右
「平民宰相」と呼ばれた首相も読んでね！

宰相：もともとは中国で皇帝を補佐して政治を行う役職
いつからか総理大臣の別称に・・・